# 経営比較分析表（令和5年度決算）

広島県　広島県水道広域連合企業団

| 業務名 | 業種名 | 事業名 | 類似団体区分 | 管理者の情報 |
|---|---|---|---|---|
| 法適用 | 水道事業 | 末端給水事業 | A1 | 自治体職員　民間企業出身 |
| **資金不足比率(%)** | **自己資本構成比率(%)** | **普及率(%)** | **1か月20m³当たり家庭料金(円)** | |
| - | 71.42 | 88.17 | 3,840 | |

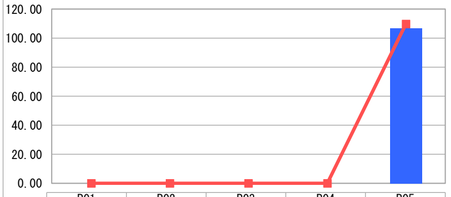
| 人口（人） | 面積(km²) | 人口密度(人/km²) |
|---|---|---|
| - | - | - |
| **現在給水人口(人)** | **給水区域面積(km²)** | **給水人口密度(人/km²)** |
| 564,304 | 1,107.58 | 509.49 |

**グラフ凡例**
- ■　当該団体値（当該値）
- ー　類似団体平均値（平均値）
- 【】　令和5年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性

### ①経常収支比率(%)

【108.24】




| | R01 | R02 | R03 | R04 | R05 |
|---|---|---|---|---|---|
| 当該値 | - | - | - | - | 106.86 |
| 平均値 | - | - | - | - | 109.81 |

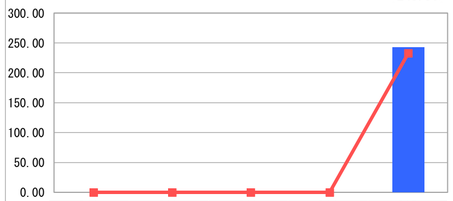
### ②累積欠損金比率(%)

【1.50】

| | R01 | R02 | R03 | R04 | R05 |
|---|---|---|---|---|---|
| 当該値 | - | - | - | - | 0.00 |
| 平均値 | - | - | - | - | 0.00 |

### ③流動比率(%)

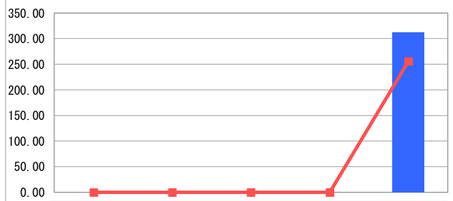
【243.36】




| | R01 | R02 | R03 | R04 | R05 |
|---|---|---|---|---|---|
| 当該値 | - | - | - | - | 242.07 |
| 平均値 | - | - | - | - | 232.66 |

### ④企業債残高対給水収益比率(%)

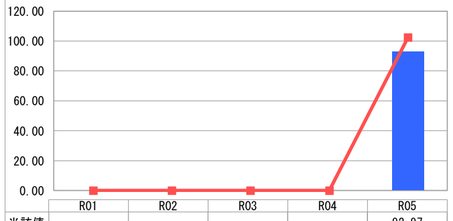
【265.93】




| | R01 | R02 | R03 | R04 | R05 |
|---|---|---|---|---|---|
| 当該値 | - | - | - | - | 311.66 |
| 平均値 | - | - | - | - | 255.84 |

### ⑤料金回収率(%)

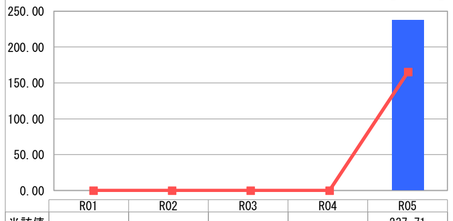
【97.82】




| | R01 | R02 | R03 | R04 | R05 |
|---|---|---|---|---|---|
| 当該値 | - | - | - | - | 92.97 |
| 平均値 | - | - | - | - | 102.36 |

### ⑥給水原価(円)

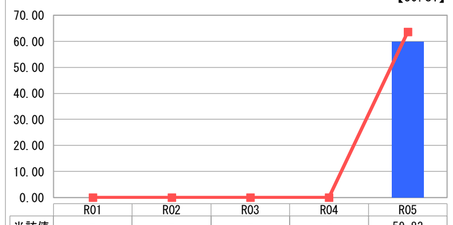
【177.56】




| | R01 | R02 | R03 | R04 | R05 |
|---|---|---|---|---|---|
| 当該値 | - | - | - | - | 237.71 |
| 平均値 | - | - | - | - | 165.52 |

### ⑦施設利用率(%)

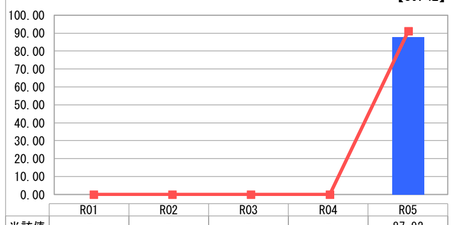
【59.81】




| | R01 | R02 | R03 | R04 | R05 |
|---|---|---|---|---|---|
| 当該値 | - | - | - | - | 59.83 |
| 平均値 | - | - | - | - | 63.58 |

### ⑧有収率(%)

【89.42】

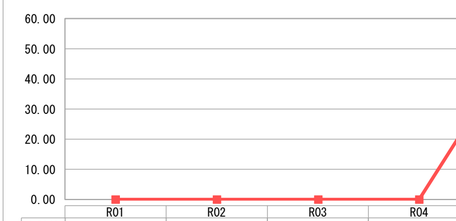



| | R01 | R02 | R03 | R04 | R05 |
|---|---|---|---|---|---|
| 当該値 | - | - | - | - | 87.92 |
| 平均値 | - | - | - | - | 91.22 |

## 2. 老朽化の状況

### ①有形固定資産減価償却率(%)

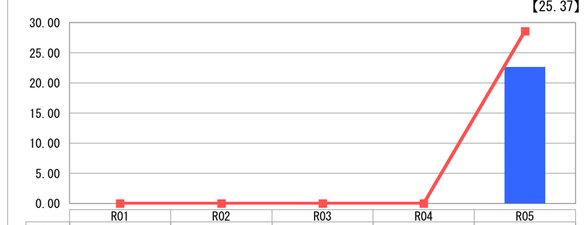
【52.02】




| | R01 | R02 | R03 | R04 | R05 |
|---|---|---|---|---|---|
| 当該値 | - | - | - | - | 51.32 |
| 平均値 | - | - | - | - | 52.74 |

### ②管路経年化率(%)

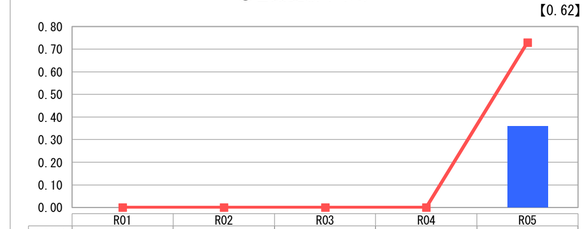
【25.37】




| | R01 | R02 | R03 | R04 | R05 |
|---|---|---|---|---|---|
| 当該値 | - | - | - | - | 22.61 |
| 平均値 | - | - | - | - | 28.57 |

### ③管路更新率(%)

【0.62】




| | R01 | R02 | R03 | R04 | R05 |
|---|---|---|---|---|---|
| 当該値 | - | - | - | - | 0.36 |
| 平均値 | - | - | - | - | 0.73 |

## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

【①経常収支比率、②累積欠損金比率】
　経常収支比率は健全経営の水準となる100%を上回っており、また累積欠損金もないことから、堅調な経営を維持している。
【③流動比率】
　短期債務に対し支払い可能な現金等の保有状況を示す流動比率は100%を上回り、支払能力を確保している。
【④企業債残高対給水収益比率】
　企業債残高対給水収益比率は、類似団体平均値（以下「平均値」という。）を上回っており、今後、より計画的に投資を行っていく必要がある。
【⑤料金回収率】
　料金回収率は100%を下回っている。給水収益のみでは、給水費用を賄えていないため、一般会計からの繰入金等により収入不足を補てんしている。
【⑥給水原価】
　管路延長が長く、管路等の更新費用及び維持管理費用が高いため、給水原価は平均値に比べて高い水準にある。また、物価上昇等による費用の増加により、給水原価の上昇が見込まれる。
【⑦施設利用率】
　施設利用率は平均値を下回っている。今後、施設の再編整備を進め、施設総量を最適化していく必要がある。
【⑧有収率】
　有収率は、平均値を下回っており、漏水対策など有収率の向上を図っていく必要がある。

### 2. 老朽化の状況について

【①有形固定資産減価償却率、②管路経年化率】
　近年に布設した管路が多いことなどにより、有形固定資産減価償却率及び管路経年化率は平均値を下回っている。
【③管路更新率】
　経年管が比較的少ないことなどにより、管路更新率は平均値を下回っている。しかし、管路の老朽化は着実に進行しているため、今後、計画的に耐震管に更新し、老朽化の改善と強靱化を図っていく必要がある。

### 全体総括

　水道事業の経常収支比率は100%を上回っており、現時点で、堅調な経営を維持している。
　しかし、社会情勢の変化に伴い、資材価格の高騰や工事費等の費用が大幅に増加するなど、今後、一層厳しい経営状況が見込まれる。
　本水道企業団では、統合のスケールメリットを活かし、施設の最適化や更新、コスト縮減を図るなどして、効率的な事業運営を進めていく。